

さいたま言語研究

第6号

【研究論文】

格助詞「で」の多義性と現代における意味機能について

—「コーヒー構文」における格助詞「で」の意味機能についての考察— 津吉 裕子 …1

一人称・二人称における接尾辞「がる」の使用実態について

—文末用法に着目して— 尾藤 眞裕 …18

人称代名詞における複数を表す接尾辞「ら」「たち」の使い分けについて

—BCCWJによる調査から— 藤本 珠笛 …32

WordNet を応用した多義体系の日英比較分析の試み

—メトニミーを例として— 鈴木 一存 …46

【2021 年度研究大会】

研究大会の報告および発表の要旨 …58

2022 年 3 月

さいたま言語研究会

さいたま言語研究会

【会則】

1. 名称

さいたま言語研究会と称する。

2. 目的

本研究会は埼玉大学を拠点とし、言語学・言語教育の分野において幅広く学術情報を交換・発信することを通して、包括的な言語研究の発展に資することを目的とする。

3. 活動内容

- (1) 年に1回（12月）、研究大会を開催する。
- (2) 年に1回（3月）、オンラインジャーナル（さいたま言語研究）を発行し、ホームページで公開する。
- (3) 年に数回、勉強会を開催する。

4. 運営委員（2021年度）

- (1) 顧問：小出慶一、仁科弘之
- (2) 世話役：金井勇人、川野靖子、劉志偉、鮮于媚
- (3) 幹事：蔡梅花
- (4) 勉強会：松本匡史

【入会の手続き】

1. 入会希望の方は「入会申し込み」と明記した上、メールで以下の情報をお知らせ下さい。

- (1) 名前（漢字及びローマ字）
- (2) 住所
- (3) 電話番号
- (4) メールアドレス
- (5) 所属（学生ではない場合は勤務先）
- (6) 専攻分野

2. 本研究会では、年会費の徴収は行いません。ただし、研究大会の開催時に、参加者から参加費（500円）をいただきます。

『さいたま言語研究』

【投稿規定】

1. 投稿原稿の種類は、以下の3つとする。
 - (1) 研究論文：独創性と新規性があり、言語研究の進展に貢献する実証的もしくは理論的研究（14頁程度）。
 - (2) 研究ノート：言語研究を活性化させる契機となりうる知見や問題提起など（10頁程度）。
 - (3) 研究資料：言語研究に関する資料や情報など（8頁程度）。
 - (4) 解説論文：研究動向や研究トピックの解説など（8頁程度）。
2. 応募締切：毎年2月28日
3. 提出先：saitamagengoken@gmail.com
4. 結果：査読・検討の上、投稿者には3月10日までに結果を連絡する。
5. 発行：毎年3月31日

さいたま言語研究 第6号

発行日	2022年3月31日
発行者	さいたま言語研究会
Homepage	http://saitamagengoken.sakura.ne.jp/home/
E-mail	saitamagengoken@gmail.com

Saitama Gengo Kenkyu

vol.6

2022. 3